

## 和のしつらい研究会 「うるしの事務室」 見学会

日時：6月15日（金）10：30～12：00

場所：輪島キリモト「うるしの事務室」 東京都江東区高橋

参加者： 5名

輪島キリモト「うるしの事務室」は江東区の木造アパートの1階にありました。中に入ると大きなテーブルがあり、天板は布目の赤い漆塗です。壁は何種類かの漆塗の板が貼られていました。和紙に漆を塗ったもの杉の網代に編んだ物に漆を塗ったもの等…。床は拭き漆で仕上げてありました。輪島の大工さんの標準仕様は地元の杉材に拭き漆とのことでした。

桐本泰一氏から漆についてお話をお聞きしました。

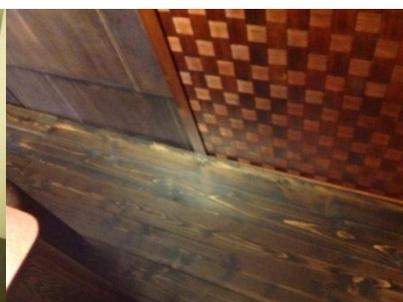
漆は非常に丈夫で優れた塗料である事、漆器は扱いが大変と一般の方は思い込んでいるがそんなことはなく、適切な扱い方をすれば長年使用できるし修理も出来るものである事、もっとインテリアにも使ってほしい等。

桐本泰一氏は輪島の漆器の生地を作る家の3代目でお膳の曲線の脚などに見られる加工は得意とするとの事です。現代の生活空間にあった器のデザインなど提案し、日本橋三越にも「キリモト」コーナーを出店しています。<http://www.kirimoto.net/>

参加したメンバーは皆、漆の知識や住空間での漆の可能性などとても関心を持つようになり、展示されている漆の作品の数々に魅了されてしまいました。



赤い漆（布目）のテーブル



拭き漆のフローリング



壁、和紙や杉の網代に漆が塗られている



壁に漆塗パネル  
曲線脚の朱漆の漆器→



清澄庭園の菖蒲

その後、清澄庭園で見頃になっている菖蒲を鑑賞しました。

（レポート作成 K.S.）